

「日本歴代最高気温を大幅更新」「月平均気温も 1898 年の統計開始以降最高」などの言葉をニュース等でよく耳にしましたが、今年も暑い夏でした。暑さ対策を講じながら、安全第一にスポーツ活動に取り組まれたことと思います。

一方、「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉が示すとおり、「秋分の日」になると、暑さも収まり、過ごしやすい気候になっていくといわれています。「秋分の日」を境に、太陽が出ている日中の時間が短くなることからそう言われているようですが、確実に季節は移っているように感じます。



いよいよ待ち望んでいたスポーツの秋の到来です。まず、私たちを楽しませてくれたのは、「見るスポーツ」ではなかったでしょうか。「世界バレー」や「世界陸上」がテレビで放映され、日本選手の応援にも力が入り、その活躍に感動された方も多いのではないのでしょうか。これからの活動しやすい気候のもとで、「するスポーツ」もしっかり楽しんでいきたいものです。

クラブマネジメント研修会 兼 アシスタントマネジャー養成講習会



8月23・24日に、YMfg 維新セミナーパークにて、標記の研修会が開催されました。総合型クラブ関係者や市町担当者、スポーツ推進委員や総合型クラブに興味のある方など、両日で約30名の参加がありました。



1日目は、広島経済大学の松本教授と渡辺准教授を講師に迎え、「地域スポーツクラブとは」「地域スポーツクラブの現状」「クラブの作り方」について講義をしていただきました。事例発表では、コミュニティクラブ東亜（下関市）

とNPO法人コミュニティスポーツくすのき（宇部市）から、立ち上げて20年以上経ったクラブの現状や課題等について発表がありました。総合型クラブだけではなく、多くの組織・団体が課題としている後継者の不足・育成の課題が挙げられました。

2日目は、「クラブマネジャーの役割」「クラブの運営」について、大分大学の谷口教授と至誠館大学の福田教授に講義をしていただきました。谷口教授の講義では、クラブ育成・運営に対する懸念点や不安、総合型クラブの社会的意味、部活動地域展開に対しての学校や教育行政との関係性についてのグループワークが行われ、それぞれの立場で、さまざまな意見が出ていました。

講習会の最後に行われた資格取得者向けの検定試験には、6名が受検され、全員合格されました。受検者の方は、準備中クラブの方をはじめ、これから総合型クラブに関わる可能性のある方達です。設立するまでにどのような取り組みが必要なのか、どのような総合型クラブを目指すのか等、考える機会になったのではないかと思います。



わくわく（輪く和く）通信

山口県生涯スポーツ推進センターだより

Vol.63

2025年

9月

スポーツくじ



スポーツ指導者レベルアップ研修会(JSP0 公認スポーツ指導者資格更新研修会)

9月7日(日)に、山口南総合センターにて、標記の研修会を開催しました。本年度の研修会は、指導面と安全管理面で専門性の高い講師の先生を2名お招きし、講演形式としました。スポーツ少年団関係者や総合型クラブ関係者、地域スポーツクラブ関係者等43名もの参加があり、本年度で3回目を迎える研修会ですが、一番多い人数での開催となりました。

講演1は、日本スポーツ協会スポーツ科学研究室から 青野 博 室長をお迎えし「ジュニアスポーツの意義と可能性～実践と評価に関するノウハウ～」と題してお話をいただきました。「子どもにとっての身体活動の意義」「子どもの発達特性」「より良い指導につながるスキル」「ACP(アクティブ・チャイルド・プログラム)のすすめ」の大きく4つの内容を、指導や評価法を中心に指導者や子どもの立場から具体的に説明されました。



参加者のアンケートから (一部抜粋)

- お話の中で、実践・評価の仕方について詳しい例を挙げておられたので、とてもためになった。何のためのスポーツなのかを理解できた。
- 見方を変えることで子どもたちの多方面での見方が変わり、成長に繋がる指導や「できた!楽しい」と思えるきっかけにもなると思った。
- やらされる練習から目的意識をもった練習へ変革するには、ACPのプログラムが大きく役立つと考えられるようになった。

講演2は、周南公立大学人間健康科学部スポーツ健康科学科から 佐野村 学 教授をお迎えし「スポーツ活動における安全・健康管理とコンディショニング」と題してお話をいただきました。

佐野村教授は、日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーとしても各方面でご講演をされており、「スポーツ現場における安全・健康管理の必要性」「リスクマネジメントとクライシスマネジメント」「暑熱環境と熱中症」「スポーツ現場における熱中症予防の取組」「熱中症に対する身体冷却の考え方」の5つの内容を、最新の情報を交えて説明されました。



参加者のアンケートから (一部抜粋)

- 子どもたちに指導する際に、安全管理はとても大切で、リスクマネジメントは子どもの命を守るために必要だと思った。特に熱中症は、このご時世、気を付けなければいけないと感じた。熱中症対策も新しい知識が知れてよかった。新しい情報をしっかり更新していきたい。
- 屋外競技のため、熱中症について、練習の判断基準と暑熱順化は大変参考になった。
- WBGTの記録を、これから残すようにしていきたい。

今回参加された方々の講演に対する評価はとても高く、「スポーツ指導者として必要な最新の知識や技術を学び、さらなる資質向上や実践力を高める」という本研修会の目的を達成できたのではないかと思います。

「総合型地域スポーツクラブ連携促進事業」の開催はじまる！

昨年度まで「地域スポーツフェスタ」という名称で、県内7地域で開催されていた事業は、本年度から「総合型地域スポーツクラブ連携促進事業」に名称が変わり、希望する地域連絡協議会や市町連絡協議会等が実施主体として開催することとなりました。

本年度「総合型地域スポーツクラブ連携促進事業」の開催は以下のとおりです。

開催地	主 催	期 日	主な実施予定内容
長門市	長門市連絡協議会	8月16日(土) 8月17日(日)	エスキーテニス・ニチレクボール体験、卓球大会、バレーボール教室
山口市	県央地域連絡協議会	9月23日(火・祝)	アーチェリー教室
岩国市	岩国市連絡協議会	10月4日(土)	モルック・ピックルボール・カローリング・顔ヨガ体験、勉強会「部活動地域展開」
萩 市	萩市連絡協議会	10月5日(日)	グラウンド・ゴルフ大会、モルック体験
下関市	下関市連絡協議会	10月19日(日)	グラウンド・ゴルフ大会、モルック大会 サッカー教室及び大会、走り方教室 等
宇部市	厚狭地域連絡協議会	10月26日(日)	講演・実技「体にやさしい歩き方」

早速、2地域が開催を終えましたので、その様子をお伝えします。

長門地域

8月16日(土)・17日(日)の2日間、長門市内の4つのクラブが連携して、「長門スポーツフェスタ2025」と題して開催しました。

16日は、長門高校を会場に「ニュースポーツ教室」、ルネッサながとを会場に「卓球大会」が行われました。「ニュースポーツ教室」では、ニチレクボールとエスキーテニスが紹介されました。ルール説明の後に、チームを作って交流戦が行われ、約45名が歓声をあげながら楽しんでいました。「卓球大会」は、約30名の参加がありました。今年は部活動の地域展開の関係で、地域クラブに所属している中学生も参加し、幅広い年齢の方が試合を通して交流を深めていました。真夏の開催でしたが、冷房の効いた会場であったため、大変快適な大会になっていました。

17日は、元サントリーの監督の山村宏太氏と元サントリーの選手の鈴木寛史氏を講師に迎え、長門高校を会場に「バレーボール教室」が行われまし



た。市内はもとより、県内各地から訪れた約120名の男子中学生や高校生が、熱心に講師の指導を受けていました。事業終了後の午後からは、参加者有志による交流試合も行われ、暑い体育館の中で、終日バレーボールで汗を流していました。

県央地域

9月23日(火・祝)に県央地域総合型クラブ連絡協議会主催の「ファミリーアーチェリー教室」が開催されました。今回は個人での申込ではなく、ファミリーや友人等の2、3名のグループでの申込としました。過去数年のイベントでは参加者を集めることに苦労していましたが、チラシ配布



数を多くしたことや、開催時期、体験時間等が要因と思われますが、すぐに定員に達したようです。

アーチェリー教室は、安全にアーチェリーをするためのルールや構え・射ち方の説明、講師のデモンストレーション、的を狙ってアーチェリー体験、グループで協力して風船割に挑戦という流れで行われました。

安全面の考慮が必要な種目なので、参加者に対し、シューティングラインまで矢は取り出さない、矢取りは全員が射ち終わってからみんなで取りに行く等、注意点をしっかり説明されていました。山口県出身で日本代表の北村優衣選手によるデモンストレーションでは、リカーブボウ、コンパウンドボウ、ベアボウという3種類の弓を使用

して、実際に射るところを見せていただきました。50メートル先の的に付けた風船が見事に割れた際には拍手が沸き起こりました。体験では、指導者に教わりながら10メートル先の的を狙い、狙ったところに矢が飛ばない難しさを感じたり、的に当たったときの喜びを感じたりと楽しんでいる様子がうかがえました。最後に行われたグループでの風船割りでは、どの風船を狙うかを宣言し、実際に割れると歓声があがっていました。

参加者からは楽しかったという声が多くあり、なかなか体験できない種目をファミリーで参加できた点もよかったようです。きっとイベント後には、親子でアーチェリーの会話が弾んだことでしょう。



研 修 会 情 報



総合型クラブ未来カフェ

台風の発生により延期となっていましたが、例年1月下旬頃に行っている第2回創設・育成研修会と兼ねて実施いたします。

日時：2026年1月下旬 PM 【23日(金)または30日(金)で調整中】

場所：山口市内

講師：神戸親和大学 松田雅彦教授

内容：講演・グループワーク

【問い合わせ先】

央部生涯スポーツ推進センター(山口県スポーツ協会)
TEL 083-933-4697 FAX 083-933-4699



クラブアドバイザーは、スポーツ振興くじ(toto)助成を受けて活動しています。